

「誇りに思う！」



赴任して約1ヶ月。千代田西部小の様々な面が見えてきました。

何と言っても、まず子どもの姿です。印象を一言で表すと

○素直で挨拶上手！

○黙想から始まる掃除も見事です！

○上級生が下級生を可愛がる姿もあちらこちらで！

ちなみに、挨拶では、立ち止まって挨拶してくれる子。帽子をとって挨拶してくれる子。しっかり目を見て挨拶をしてくれる子…。明るい挨拶は、社会人になっても最も大切にされること。地域でも、素敵な挨拶ができる子に育てたい！

また、給食費の納入日の2日間、初めての体験となる1年生をエスコートしてくれる上級生の姿が…。何と微笑ましい。同時に、こんな心優しい子が沢山いる西部小を誇りに思いました。

次に職員。手前味噌ですが、職員も素晴らしい。まず、職員室での先生方の会話が温かい。一人一人の子どもの個性を認め、建設的な話題ばかり。こんな職員の中だからこそ、素直で優しく逞しい子が育つのだな！また、毎朝自主的に校内外の清掃をする職員、明るい環境を創るため、玄関の花の手入れを欠かさない職員…。その姿を子ども達は見て何かを感じているはず。西部小の誇りはここにもありました。

最後に、地域の見守りの厚さも凄い。様々なところで登下校の見守りをしてくださっている方の何と多いことか！子どもの教育は地域と共に…。と、「チーム千代田西部小」を掲げている私達にとって、これ以上心強いことはありません。皆様方お一人お一人にお目にかかり御挨拶とお礼が言えないこと申し訳なく思っています。紙面を持って日頃からのご支援ご協力に心から感謝します。笑顔と夢に溢れた学校を、保護者・地域の方と共に創造していく決意を新たにしているところです！



「返事・あいさつ・靴ならべ」

「返事・あいさつ・靴ならべ」の徹底！

現在、教室では、新しい学年に相応しい、学習や生活の決まりの指導・徹底に全力が注がれています。例えば、「手の上げ方」「返事の仕方」「指名された時の話し方・聴き方」等々。子供達も、それに応えて、精一杯頑張っている様子が伺えます。

さて、学習と生活は表裏一体。私はいつもそう考えています。

高校野球の監督さんが「梵字徹底」

こそ大切！とコメントされていることと相通ずるもの

があると思います。



そんなことを考えながら靴箱を見てみると…。ほぼ及第点だと思いますが、満点にはもうちょっと。少々慌てて置かれたような靴、踵が踏まれた上靴もちらほら。靴箱の中には、赤いラインが引かれていて、寸分違わず置かれているクラスもあり、指導の跡を感じます。

これはほんの一例で、子ども達の成長を願ったチームでの取り組みが様々成されているのだと確信しました。チームで取り組む西部小の教育！これからどこまで進化していくのだろうか…。ワクワクが止まらない！！

～ホットー息～

子どもの世界は面白い！そんなエピソードを前回号で紹介しましたが、今回も…。

登校中のある班の会話から。

「先生や大人の人に話す時は、敬語を使うんだよ？」と先輩。

「えっ、英語？僕話せない」

「英語じゃなくて、敬語だよ」

1年生には敬語って言葉がわからないんだよ」

「あっ、そうか。敬語はね、です、ますを使う丁寧な言葉だよ…」



その班の先輩、上学年の子は、帽子をとって挨拶すると良いよ…。など人として大切なことも教えていました。こうして、大切なことが先輩から後輩に伝わっていくんですね。同時に、そのような会話をできる先輩の存在に頼もしさを感じました。西部小の子どものすばらしい一面をまた発見できた喜びで、心が満たされた瞬間でした。

